



<明日から臨時休業>

3月2日(月)に配付しました、いわき市教育委員会及び小川中学校からの文書に記載してあったとおり、明日から臨時休業になります。また、3月24日(火)からは春休みとなりますので、3年生を除いては、今日が今年度最後の登校日となりました。

3年生については、明日から県立高校の前期選抜になります。昨日の事前指導で配付されたプリントの内容を十分確認し、明日からの試験では、今まで積み上げてきたことを最大限に発揮することを願っています。また、合格発表当日の手続き等については、今日配付された進路だよりに記載してありますので、保護者の皆さんも確認をお願いします。

1・2年生については、明日から家庭での生活となります。今日、休業中の生活と学習課題一覧のプリントを配付しました。学校の時間割に合わせて、教科書や配付された課題プリントをもとに学習(予習・復習)を行うようになります。また、感染予防のための健康管理や手洗い、マスク着用などをしっかり行うとともに外出を極力控えるよう、家庭での声かけをよろしくをお願いします。

<1・2年生で卒業式会場を作成>

3月2日(月)の3・4校時に、2年生で卒業式の会場作成を行いました。当初の予定では前日の12日(木)に行う予定でしたが、臨時休校の措置に伴って変更となりました。本来であれば1・2年生も会場に参加して、卒業する3年生の晴れ姿を見届けるところでした。それができない分、2年生が心を込めて、一生懸命に会場作成を行いました。



<卒業式の日程>

3月13日(金)に、卒業生と保護者及び教職員と在校生代表生徒の参加で、卒業証書授与式を行います。明日、県立高校の受験を控えた3年生には、「卒業」という実感はないかも知れません。

3年間の中学校生活では、部活動や修学旅行などの学校行事、日々の授業や何気ない友達との会話などを通して様々なことを経験し、大きく成長してきたと思います。楽しいことや嬉しいこともあります。反対に悔しいことや悲しいことなどもあったと思います。しかし、今となればそれらもすべて良き思い出です。

3年生後半からは受験に向けた学習が本格化し、志望高校への合格を目指して勉強と向き合う日々が続きました。思うように勉強がはかどらない苛立ちや受験に対する不安で、眠れないこともあったかも知れません。今までの人生の中で、こんなに自分が追い込められたことはなかったかも知れません。でも、それも乗り越えて今があります。

13日は中学校最後の登校となります。最後の一日をともに過ごした仲間と、晴れ晴れとした気持ちで迎えてください。卒業式の日程は次のとおりです。

<卒業式の日程>

8:45~	卒業生登校(9:00まで)	10:40~	卒業生退場
9:25~	卒業生入場	10:45~	卒業生学級活動
9:30~	卒業証書授与式	11:15~	卒業生見送り

- ・体育館内は寒さが予想されます。温かい服装でご参加ください。また、上履きを忘れずにご持参ください。
- ・駐車場は職員駐車場、東駐車場、中庭となります。乗り合わせ等の節車にご協力をお願いします。
- ・受付は生徒昇降口となります。その際、給食費の返金がありますので、印鑑(シャチハタは不可)をご持参ください。
- ・雨天時は、見送りは校舎内となります。保護者の皆さんは、生徒昇降口付近で見送りをお願いします。

<令和元年度の教育活動が終了>

臨時休校の措置に伴い、卒業証書授与式を除いて、本日で令和元年度の教育活動が終了となります。

今年度は10月に台風19号による水害があり、学校も地域も大変な状況になりました。また、今回の新型コロナウイルスに関わる臨時休業を除けば、大きな事故等もなく、教育活動を終えることができました。今年度1年間の学校運営に対して、保護者及び地域の皆様にはご理解とご協力をいただいたことに対し、改めて感謝申し上げます。

今年度も生徒たちの活躍が数多くみられました。中体連の大会では特設陸上部、バドミントン部、ハンドボール部が県大会に出場しました。また、吹奏楽部は県コンクールへ出場しました。新人戦においても、ハンドボール部、バドミントン部が県大会に出場、特設駅伝部男子が6位に入賞するなど、次年度での活躍が期待されます。

その他、美術関係、書道関係、文芸関係でも多数の受賞がありました。様々なコンクール等に生徒たちが積極的に参加する姿が見られ、本校の教育目標の1つである“感性”を發揮していることに喜びを感じます。今後も“感性”にますます磨きをかけていけるように支援していきたいと思ひます。

明日からは4月6日(月)の始業式・入学式まで長い休業期間になりますが、生徒たちが健康で安全に生活できるように、家庭での声かけをよろしくお願ひします。また、次年度も引き続き、本校教育活動に対する保護者・地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

＜ベルマーク財団による被災校援助＞

この度、公益財団法人ベルマーク教育助成財団から、台風19号によって被災した学校への援助として、教材・設備品を援助していただきました。現在、校庭等の復旧工事が進み、間もなく使用できるところまでできていることを踏まえ、「グランドならし」(10万円相当)を寄付していただくことにしました。心を寄せてくださったベルマーク財団の方々に感謝するとともに、寄贈品は大切に使用したいと思ひます。



＜校庭の復旧状況＞

1月初旬から始まった校庭等の復旧作業も約2ヶ月となりました。大量に堆積していた土砂等が取り除かれましたが、10トントラックで80回以上も運び出したそうです。その後、新しい土を搬入し、ロードローラーできれいに整地していただきました。校庭とテニスコートはもう少しで使用できるところまでできています。

プールについては、水槽に泥水が溜まったままとっており、これから排出作業が行われます。また滅菌器等の交換もあり、次年度の水泳の授業に間に合うように、復旧作業を行っていく予定になっています。一日も早い、完全復旧を待つばかりです。



復旧工事の始まり



校庭の土砂撤去



手前は土砂撤去後



テニスコートの土砂撤去



土砂撤去後の校庭



校庭南側の川砂撤去



新しい土入れ作業



土入れの完了

＜今日は雛祭り＞

今週は雛祭りがありました。雛祭りは女子の健やかな成長を祈る日本の節句の1つです。ひな人形を飾り、雛あられや菱餅などを供えます。また、白酒やちらし寿司を準備することもあります。

「雛祭り」がいつ頃から始まったかは複数の説があり、歴史的にはよく分かっていないようです。説の1つに、平安時代の京都で、貴族の子女の遊びごととして行われていたとする記録があるそうです。初めは儀式ではなく遊びだったようで、雛祭りが「ひなあそび」とも呼ばれるのは、そのためだと言われています。また、平安時代には紙で作った人形を川で流す「流し雛」があり、雛人形は穢れ払いとして災厄よけとして祀られるようになりました。江戸時代になると女子の「人形遊び」と「節句の儀式」が結びついて全国に広がり、ひな人形が飾られるようになりました。3月に行うようになったのは、安土桃山時代以降と推測されています。



【今後の予定】 ※今年度の学校だよりは、今回の42号で最後となります。ご愛読ありがとうございました。

3月 4日 (水) 県立高校前期選抜試験 (3/6金まで、各高校)
 3月 13日 (金) 卒業証書授与式
 3月 16日 (月) 県立高校前期選抜合格発表
 3月 17日 (火) 県立高校後期選抜出願 (3/18水、正午まで)
 3月 19日 (木) 県立高校後期選抜出願先変更
 3月 24日 (火) 県立高校後期選抜試験
 3月 25日 (水) 県立高校後期選抜合格発表
 (午後3時以降、各高校で)

※例年行われている、合格発表後の中学校への報告はなくなりました。
 ※春休み中に各高校で行われるオリエンテーションには必ず参加するようお願いいたします。